

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	明日の人材を育てる教育文化のまちづくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域活性化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町には現在9校の小学校と3校の中学校があるが、少子化に伴い児童・生徒数は年々減少しており、今後さらなる減少も予想される。その一方で学校教育に求められる役割はますます大きくなり、限られた財政の中で安心・安全で充実した教育環境を整備していくことが求められている。</p> <p>また歴史・文化の面でも、古墳公園は古代の歴史文化を今に伝え、国の重要伝統的建造物群保存地域に指定されたちりめん街道は、この地で開いた丹後ちりめんの文化を今に伝えるものであるし、町内には与謝野鉄幹・晶子夫妻が訪れ歌を詠むなど、俳句・短歌文化にゆかりのある場所が多くあり、平成23年10月に開催された国民文化祭では俳句をテーマに様々な催しが行われた。これらの誇らしい歴史文化に住民が手で触れ、肌で感じることで住民の愛郷心を育むことになるので、後生にも繋がるよう保存や環境整備をしていくことが求められている。</p> <p>一方、文化活動や生涯学習・生涯スポーツの振興、国際交流や人権学習の推進を通して住民が生きる活力を創出するために、図書館・公民館の整備、スポーツ施設の整備や、各種イベント・レクリエーションの開催・支援等の環境づくりを積極的に行うことも重要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>将来のまちを担う「明日の人材を育てる教育文化のまちづくり」を目指して、地域と共に育てる学校づくりや青少年の健全育成、生涯学習・生涯スポーツの振興や国際交流の推進に取り組み、誇らしいふるさとの文化を育てていく。また、すべてのまちづくりに関わることとして、一人ひとりの人権を大切にすまちづくりを進める。</p>						
	総事業費（千円）	249,224	本年度事業費（千円）	91,356	交付金額（千円）	33,501	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	学校施設整備事業	交付対象事業	加悦中学校屋体施設新規備品整備。	司会者台、スクリーン、紅白幕、パイプ椅子（100脚）、ホワイトボード（2）、掃除用具入れ（2）、掃除機、洗濯機等の購入。			
	認定こども園施設整備事業	交付対象事業	認定こども園新設工事設計業務委託。	岩滝認定こども園新設に係る、設計業務、測量業務委託。			
	知遊館管理運営事業	交付対象事業	生涯学習センター知遊館管理運営事業。	吸収式冷温水発生機器修繕。			
	給食センター整備事業	交付対象事業	給食センター整備事業事業。	炊飯釜災テフロン加工修理、電気消毒保管機購入、弁当箱（2,300個）購入。			
	体育施設整備事業	交付対象事業	体育施設整備事業。	城山テニスコート照明柱塗装。			
	児童生徒サポート事業	交付対象事業	学校生活に馴染めない、特別支援が必要な児童・生徒の支援事業。	適応指導教室指導員、特別支援保育士・講師の賃金等運営事業。			
	放課後学習支援事業	交付対象事業	あらゆる児童への学習機会の確保を図る。	町内の5カ所の学校で実施。			
	リベラルアーツ推進事業	交付対象事業	質の高い一般教養講座を開催することで、これからの与謝野町を担う人材育成を図る。	6講座。述べ参加人数203人。			
	小学校教育振興事業	交付対象事業	社会科副読本の印刷製本。	私たちの与謝野町1,000部。			
住民 協働 事業	国際交流事業	関連事業	ウェールズ・アベリスツィスとの交流事業。	高校生相互派遣事業は相手方との調整がつかず、次年度へ。新たにスタートしたサマースクール事業については、随員（町職員）含め4人が参加。			
	青少年健全育成事業	関連事業	青少年健全育成会による事業。	町内各所で実施。			
住民が 取り組む							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	図書館の貸し出し冊数の増加 (H23：年間121,447冊⇒H29：年間125,000冊)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	平成27年度134,573冊/年
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	貸出冊数の上限引き上げによる。引き続き利用者の要望に応じていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	スポーツ施設利用者数の増加 (H23：年間103,272人⇒H29：年間110,000人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	平成27年度88,086人/年
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	人口の減少、施設の老朽化や、施設の規模により大きな大会等が開催できないことが数値の伸びない要因の一つとなっている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	ウェールズ・アベリスツィスへの高校生派遣の推進 (H23まで：52人⇒H29：70人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	平成27年度64人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	受け入れ相手の都合により、H27からH28年度に延期になったため、実績に変わりなし。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	文化・芸術を楽しむ事業への参加者数の増加 (H23：年間10,327人⇒H29：年間10,500人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	平成27年度10,162人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	H26年度に比べ、318人の増加。江山文庫において、京都府の巡回展「日本画 ころの京都」を受け入れるなど展示内容に工夫を行った結果である。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	教育文化施設的环境整備や、教育文化やスポーツに触れ合う機会の創出に努めることで、住民の理解と協力を得られ、積極的な参画に繋がっている。しかしながら、いくつかの成果指標については、少子高齢化や人口減少の問題もあり参加者数の減少となっている。今後も、広報活動や様々な取組を通じて参加者数の増加に繋がるように努めていく。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
	関連事業との連携効果 府と市町村等との連携に資する成果	町の行う教育文化・スポーツの環境整備事業だけでなく、関連事業で住民自らが取り組む様々な事業を行うことができ、町全体が一体となって誇らしいふるさとの文化やスポーツを通じて様々な人々と交流する喜びを共有できている。 地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	町の継承すべき貴重な文化や伝統を住民自らが再発見し、合併後の新町でそれを共有することができた。生涯スポーツの分野でも住民が中心となって平成23年度には全日本シニアソフトボール大会を成功させるなど、全国から来られる選手たちのために知恵を出し合い、不足する部分は行政が支援するなど、住民と行政が協働して取り組むことができ、大きな成果をあげることができた。
	リーディング・モデル成果	少子化が進む中で、当町にとっても子どもたちは貴重な宝であり、心身の成長とともに自分たちの住む地域を愛する心を持って成長できる教育を推進することで、未来を担う人材の育成に繋がる。 また、継承すべき伝統文化にあらためて触れることで、愛郷心が生まれ、この地域に誇りを持つことができるようになる。
	広域的波及成果	町の継承すべき貴重な文化や伝統を住民自らが再発見し、合併後の新町でそれを共有することができた。旧町単位での取り組みも、住民自らが気運を盛り上げることで全町に波及する取組に発展した。
	行財政改革に資する成果	教育文化施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。